

第3次川崎市教育振興基本計画

かわさき教育プラン

第1期実施計画

一人ひとりが学びの
主役

Key
Project

Project 1 探究的な学びの充実

Project 2 切れ目のない支援

Project 3 教職員が働きやすい環境づくり

Project 4 生涯を通じた「学び」と「学び合い」社会の実現

令和8(2026)年3月
川崎市教育委員会

かわさき教育プラン 第1期実施計画を策定しました

社会の変化が、これまでになく速く、そして複雑になっています。生成AIをはじめとするデジタル技術の進展や、価値観の多様化、働き方や生き方の変化により、一つの将来像を正解として描くことが難しい時代となりました。

こうした中で、子どもだけでなく、すべての人が、自ら考え、学び続けながら人生を切り拓いていく力を身につけていくことが、より一層求められています。正解を与えられるのを待つのではなく、自ら問いを立て、他者と関わりながら答えを探していく。その積み重ねこそが、不確かな時代を生き抜くための確かな力につながっていきます。

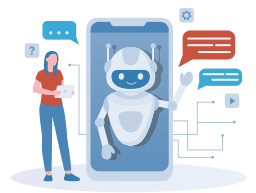
「教育」とは誰かから一方的に与えられるものではなく、一人ひとりの内側にある「学びたい」「やってみたい」「なぜだろう」と心が動く瞬間から始まるものだと考えています。

生成AIをはじめとするデジタル技術が身近になる時代だからこそ、人が自ら考え、選び、行動することの価値は、これまで以上に大切にされています。

「第1期実施計画」策定の背景・国の状況

**社会の不確実性が高まり、
変化の先行きを見通すことが
難しくなっている**

現在私たちは、さまざまな社会的な課題に直面しています。また、デジタル技術等が絶え間なく発展する時代を生きています。



**「人生100年時代」を
生き抜く**

子どもたちをはじめ、これからの社会を生きていく人たちは社会の変化に対応しながら「人生100年時代」を生きていくことになります。



**国では新しい学習内容の
議論が進められている**

現在、これからの時代にふさわしい学習指導要領の在り方についての議論が進められています。



基本的な考え方



市民一人ひとりが“学びの主役”

“教育から学び”へと転換し、自らの学びを“自分事”としてとらえられるよう教育施策を進めていきます。



自分たちで考え、解決していく学び

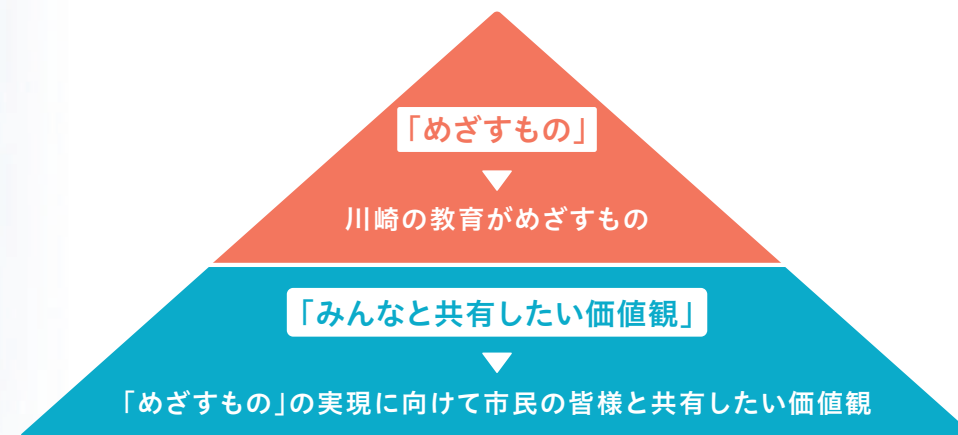
子どもたちが変化の激しい社会を生き抜くことのできる力を身につけられるように取組を進めます。

人材が循環する地域づくり

主体的に学ぶ大人が子どもたちの成長を支えていけるよう、子どもの学びと地域の力を一続きでとらえながら地域づくりを進めます。

「めざすもの」 「みんなと共有したい価値観」

「第3次かわさき教育プラン」の計画期間(R8~R19)全体を通じて、本市の教育がめざす内容を、「めざすもの」と「みんなと共有したい価値観」として決めました。



「めざすもの」

誰もが多様な個性や能力を伸ばし、充実した人生を主体的に切り拓くことができる人を育てる「**人づくり**」と、多様性を尊重し、共に支え高め合い、誰もが安心して育つことのできる社会をつくる「**社会づくり**」の思いを込め、新たに「めざすもの」として定めます。

「一人ひとりが輝き、共に未来をつくる」

川崎の教育は、今この瞬間から一人ひとりの個性を大切にし、生きがいのある人生を自分らしく送ることで輝くことができる人を育てます。そして、そのような市民が、それぞれの強みを活かしながら、さまざまな立場や考えの人たちと協働して持続可能な社会をつくりだしていくことをめざしていきます。

「みんなと共有したい価値観」

市民の皆様と川崎の教育で大切にしていきたい価値観を共有し、川崎らしい人づくり、社会づくりを進めていく「**合言葉**」としていきます。

「一歩、踏み出す」

大切にしたいのは、子どもも大人も学びの主役として、自分らしく一歩踏み出すことです。つまずきも学びに変えながら、チャレンジすることを大切にします。

「自分の幸せ みんなの豊かさ」

子どもや教職員、保護者、すべての市民が、自分が自分であることを大切にできるよう、そして、共に学び合い、つながるよろこびを感じながら、よりよい社会をつくっていきます。

「多様性を可能性へ」

学校も地域も一緒に、他者を想像し、互いを認め、支え合いながら、多様な価値が交差する場を創造していきます。

教育プランの新しいKey Project

川崎の教育がこれからの時代の変化に対応していくために特に力を入れて取り組むテーマを“Key Project”として4つにまとめました。

Project 1 探究的な学びの充実

Project 2 切れ目のない支援

Project 3 教職員が働きやすい環境づくり

Project 4 生涯を通じた「学び」と「学び合い」社会の実現



1 探究的な学びの充実

子どもの好奇心からはじまる学び

技術や社会の変化が加速する中、子どもたちには変化に柔軟に対応し、自ら考えて行動する力が求められています。川崎市では、地域に学び地域に関わる「探究的な学び」を進め、将来に必要な力を育成し、子どもたちの行動につなげます。子どもの「どうして?」「不思議だな」をもとに、わくわく・ドキドキ感を感じられる子ども主体の学びを大切にします。

これまで取り組んできた「探究的な学び」を「かわさき探究2.0」としてアップデート

「探究的な学び」とは?

「探究的な学び」は、自分で問題を発見し、課題の解決に主体的に取り組んだり、他者と共に考えながら試行錯誤することを通して、新たな価値を創造する力が身につくとされている学び方です。



「かわさき探究2.0」では?

川崎市の強みを活かし、地域に学び地域に関わることを通じて子どもたちの社会参画に向けた資質・能力を育成します。全市立学校で総合的な学習(探究)の時間を中心に取り組みます。



2 切れ目のない支援

学びの可能性をすべての子どもに

特別支援学校・学級や不登校の児童生徒が増加しており、子どもや保護者の支援ニーズが複雑化・多様化しています。こうした中、すべての子どもが自分らしく安心して学び続けられるよう、学校だけでなく、関係する組織がつながり、児童生徒一人ひとりに応じた支援を進め、自立、社会参加するために必要な力を培っていきます。



支援の連続性を確保

専門的なアセスメントに基づく個別の教育支援計画を軸に、必要な情報を適宜適切に関係機関で共有し、連携した支援体制の構築を進めます。

学びの場の確保と居場所づくり

すべての小・中学校で、教室外でもいつでも安心して学習や生活ができる「(仮称)校内教育支援センター」を設置していきます。

学校・教職員へのサポート

教員研修や人材育成を進め、医療・福祉等の専門職とも連携しながら、教職員をサポートできるよう、支援体制の強化に向けた取組を進めます。

保護者が安心できるように

不登校の親の会等の民間団体と連携し、保護者が悩みを共有できる仕組みをつくることで、安心して子どもに関われるようにします。

3 教職員が働きやすい環境づくり

働く人が安心して力を発揮できる学校へ

業務負担が大きく、人材不足も続く中で、教職員の健康確保とウェルビーイングの実現が求められています。働き方改革と人材確保をセットで進め、教職員が安心して力を発揮できる環境を整えることで、教育の質と学校現場の魅力の向上をめざします。

学校との意見交換会の内容等をもとに4つの対応の方向性を決めました

教育課程の編成による創造的な余白づくり

教育の質の向上に向けて、授業準備など教員が担う業務に充てる時間を生み出す取組を支援します。

教員の負担軽減・業務改善

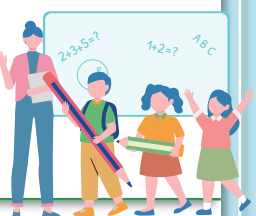
生成AIの活用、採点の効率化、ペーパーレス化など、デジタルを活用し、業務を効率化します。

児童生徒主体の学びへの転換

教員から子どもへ考え方や知識を伝える教員主導の授業の他に、教員がファシリテーターとなる子ども主体の学びを進めていきます。

しくみづくり・環境整備・人材確保

スクールロイヤーを活用した学校支援体制の充実や教職員が利用する端末の統合によるDX化、多様で優秀な人材確保の取組を進めます。



4 「学び」と「学び合い」社会の実現

いつでも、どこでも学べる環境づくり

子どもも大人も、変化の激しい時代を豊かに生きるには、既存の価値観にとらわれず、生涯にわたり学び続けることが重要です。学校だけでなく、地域活動や仕事、趣味など日々の暮らしにも学びは広がります。多様な価値観を尊重し合い、共に学ぶことで新たな考えや価値を生み出し、学び合いによる、よりよい社会を実現していきます。

いつでも・どこでも・さまざまな学びを

行きたくなる市民館・図書館となるように、市民が利用しやすい環境や、居心地のよい空間づくりを、民間ノウハウ等を活用しながら進めます。

学びを活かして、活躍できる社会へ

個々の学びを発揮できる機会を創出し、「学び合い」につながる場や、団体同士の緩やかなつながりづくりを進めます。また、地域と一緒に考える学校運営と地域の力による充実した学びを、学校教育と社会教育の双方向から推進します。



子どもたちの学び

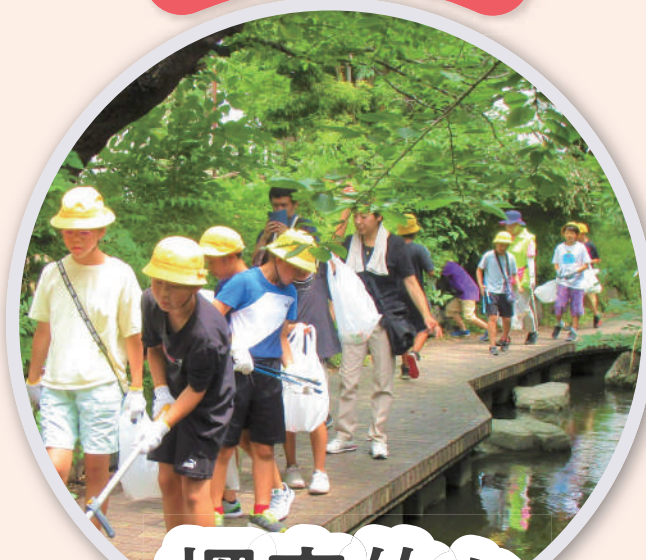
Project 2



切れ目のない
支援

一人ひとりに応じた支援

Project 1



探究的な
学び

自分たちで考え、解決していく学び

ウェルビーイングの
向上

Project 3



教職員が働きやすい
環境づくり

働き方改革と人材確保の推進

教職員が働きやすい
環境づくりと
教育の質の向上の
好循環

教育の質の
向上

Key Projectの関係性

4つのProjectを関連させながら取組を進めることで、市民一人ひとりが“学びの主演”“学びの主体”となって、「めざすもの」の実現をめざしていきます。

いきいきと学ぶ姿を、
子どもたちの
ロールモデルに！

子どもの学びと
地域の力を
一続きでとらえながら
人材が循環する
地域づくり

社会の変化に
対応しながら
学び続ける人材

Project 4



「学び」と
「学び合い」

個人の学びと活躍の機会のマッチング

学校

地域

変わる！ かわさきの教育！

第1期実施計画の主な取組をまとめました。

自分の体力をデータで確認できる！

データを活用し、子どもの体力向上を図ります。

外部活力を活用し、安全・安心な水泳授業を実施！

水泳授業で外部のプールを活用したり、学校のプールに外部指導員を派遣したりします。

全校の体育館・武道場に空調を完備！

暑さが厳しい季節も安全に運動に励むことができ、災害時にも活用できます。

先生同士の情報共有が活発になる！

クラウド環境を整備することで、教科や学年の枠を超えた教材研究等が充実します。

給食の回数が増える！

各学校の実情に応じて、給食提供回数を増やせるようにしていきます。

新しい授業スタイルも！

通常の授業の他に、「どうして」「やってみよう」など、地域参画を通じて子どもたち主体の学びを推進します。

地域の人たちから学ぶきっかけをもらおう！

さまざまな地域の方が関わることで、経験やスキルを活かした“学び合い”の機会が増えます。

学習の理解度がデータで見える！

1人1台与えられているGIGA端末で学習の理解度を振り返り、次の学びにつなげます。

みんなで健康的な歯に！

歯の健康の指導補助員を配置してフッ化物洗口などを行い、子どもの歯の健康増進を行います。

みんなが安心して学べる学校に！

安心できる居場所空間として「(仮称)校内教育支援センター」をつくり、専任スタッフ配置校を増やしていきます。

先生をより元気に！

授業準備やプライベートなどに時間を充てることができるよう、業務改善を行います。

校門で待つ朝がなくなる！

地域の協力も得ながら、学校の業務とならない形で、始業前から屋内で過ごせるようにしていきます。

身近な場所で講座を開く！

市民館を飛び出し、さまざまなところで学習活動が可能になります。

他にも **変わる・新しくなる！**

不登校に悩む保護者をサポート

親の会等と連携し、不登校に悩む保護者同士がつながる機会を増やすなど、**保護者向けピアサポートを導入します**。また、多様な学びの支援に関する情報発信を強化します。

学校図書館をもっと身近に

令和8年度から11年度にかけて、**学校司書を中学校等に順次配置します**。本の選定や調べ学習の支援を行い、学校図書館の機能を高めることで、子どもたちの読む力や調べる力を伸ばし、主体的な学びを支えます。

いろいろな場所で自然教室を実施！

小学校5年生と中学校1年生を対象に実施している自然教室は、これまで八ヶ岳少年自然の家で実施してきましたが、今後は、**全校いろいろな場所で実施していきます**。

高等専門学校の設立をめざします！

高等専門学校は、**実践的で高度な専門教育を行う、5年一貫の高等教育機関**です。川崎市は、高度なものづくり・デジタル人材を育成するため、企業や大学と連携して設立をめざします。

学校徴収金事務が効率的になる！

学用品費や修学旅行費などの学校徴収金を保護者の皆様から徴収していますが、教職員の負担軽減を図るとともに、**保護者の皆様がスマホ等でWebサイトにアクセスし、申込みやオンライン決済ができるよう、民間のWebサービスの導入を、一部の小中学校から順次進めています**。

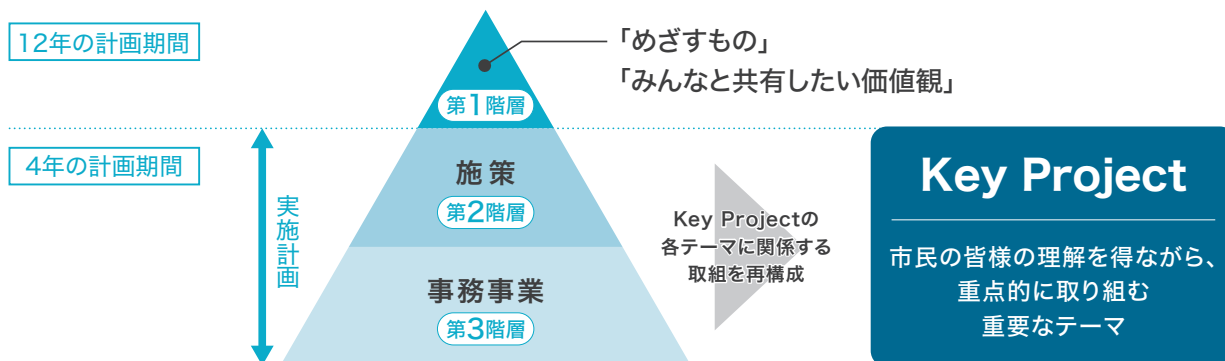
教育文化会館、幸市民館・図書館が生まれ変わる！

教育文化会館は、労働会館との再編整備により労働会館を大規模改修し、**川崎市民館・労働会館として生まれ変わります**(令和9年11月供用開始予定)。幸市民館・図書館は、老朽化した設備等の更新や大ホール天井の脱落防止などのため、令和8年10月から工事に着手し、より使いやすい施設に生まれ変わります(令和10年7月供用開始予定)。

かわさき教育プランの概要

構成及び計画期間

12年間の計画期間全体を通じて実現をめざすものを教育プランの「めざすもの」及び「みんなと共有したい価値観」として掲げながら、具体的な取組内容は「施策」「事務事業」の階層で体系的に整理しています。



	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19
「めざすもの」 「みんなと共有したい価値観」	12年間の計画期間											
施策、事務事業、 Key Project	第1期実施計画				第2期実施計画				第3期実施計画			

全体像

めざすもの

一人ひとりが輝き、共に未来をつくる

みんなと共有したい価値観

一歩、踏み出す 自分の幸せ みんなの豊かさ 多様性を可能性へ

施策

- 施策 1 子ども主体の学びの推進
- 施策 2 豊かな心とすこやかな体の育成
- 施策 3 一人ひとりの教育的ニーズへの対応
- 施策 4 学びを支える教育環境の充実
- 施策 5 地域と学校の連携・協働
- 施策 6 生涯学習の推進

Key Project

- Project 1 社会参画に向けた資質・能力を育成する探究的な学びの充実
- Project 2 組織等の枠を越えた連携による切れ目のない支援
- Project 3 教職員が働きやすい環境づくり
- Project 4 生涯を通じた「学び」と「学び合い」社会の実現

より豊かな学びに向けて

- 取組 1 子どもの権利に関する学び
- 取組 2 未来を主体的に切り拓く学び
- 取組 3 教育DXによる学び

